



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



当院敷地内で4月に咲いた満開の桜

## 第68号 目次

新任挨拶 ..... 1

特集 一医師が語る疾患一 ..... 2  
第24回 アトピー性皮膚炎

地域医療を救え！～新型コロナウイルス感染症対策～  
感染対策本部 ..... 3

連載 ..... 5  
第23回 職員リレー紹介  
診療情報管理士

病診連携施設紹介 ..... 6

清水内科クリニック

外来担当医表／編集後記 ..... 7

発行 月：令和2年7月  
発行 行：独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター 広報委員会  
発行責任者：鈴木 宏昌  
住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
電 話：045-851-2621  
FAX : 045-851-3902  
URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



●当院携帯サイトはこちらから

# 新任挨拶

事務部長 小嶋 美之

「はらじゅくかわら版」をご愛読いただいている地元の皆さま、本年4月1日をもって事務部長を拝命いたしました小嶋と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。

また、職員の皆様には着任の挨拶もままならず大変申し訳ありませんでした。この誌面をお借りして改めて自己紹介を申し上げたいと思います。

私、当院へは自宅のある東京都三鷹市から遠距離通勤をしておりますが、生まれは東京都東村山市であり、20歳まで同地にて過ごしました。ちょうど私が思春期と呼ばれる年代の頃に、小学校の運動会で踊ったことのある「東村山音頭」がいつのまにか全国に知れ渡りました。しかし多感な時期であったため、当時は東村山に住んでいることを恥じる気持ちが大きく、正直、その原因を作った人物を素直に受け入れることができませんでした。

ところが社会人になって、初めてお会いする方との会話ではこの“東村山出身”が大きなアドバンテージとなり、「お住まいは東村山4丁目ですか？」などと尋ねていただき、気軽に会話の端緒が掴めました。ちなみにですが、東村山4丁目という住所は存在しません。東村山市〇〇町〇丁目というのが正式ですので、念のため。

そんなことが重なり、東村山を一躍有名にさせていただいた志村けんさんを極めて近い存在に感じ、勝手に故郷の先輩と称し（嘘ではありません…）、とても慕っている自分がありました。今では我が郷土の誇りとしてお酒の席ではしつこいぐらいに志村愛を語っていたところでしたが……。

志村さんが突然この世を去られてから特別番組の放送や、親しかった方々からのコメントなどが多数寄せられております。それほど皆さんに愛された方だと改めて彼の人となり思いを馳せます。

国家公務員試験を受験し、たまたま国立病院の世界に足を踏み入れ30年以上の時間が流れ当院で定年を迎えます。これまでどれだけの足跡を残せたのか甚だ疑問ではありますが、最後まで全力疾走し「太いくせに小嶋という奴がいたな」と志村けんさんのようにとは言えないまでも、時々思い出していただけるよう勤めたいと思います。



看護部長 藤澤 千栄美

栃木医療センターから転勤してまいりました、看護部長の藤澤と申します。現在(4月)、新型コロナウイルスのため国は緊急事態宣言を出しています。ここ神奈川県も不要不急な外出の自粛が呼びかけられ国民も先行きの見えない不安に包まれています。そのような中、横浜医療センターに着任いたしました。私が最初に見たのは、真剣に医療に立ち向かう職員の方々でした。医療崩壊という言葉がニュースや新聞で出ていますが、そうならない、地域住民のため、患者さんのため、当院ができることは何かを職員全員が考え行動していました。

実際、医療材料も防護服も在庫が少なくなってきました。自らが感染する恐怖や不安もあると思いますが、看護師たちの必死で頑張る姿を見て看護部長として涙が出る思いです。

看護部の理念は「常に患者中心」を念頭において温かく笑顔で心のこもった看護を提供します”です。看護部長として、患者さんを第一に考えること、それから看護師たちを守り支えることが私の使命と考えております。一刻も早く、この新型コロナウイルスが落ち着き、また穏やかな日々が来ることを祈っています。



# 特集－医師が語る疾患－

## 第24回 アトピー性皮膚炎

皮膚科部長 上田 喬士

本日はアトピー性皮膚炎の治療についてお話ししたいと思います。

### ◆ステロイド外用薬と、ステロイドバッシングの時代

1950年代にステロイド外用薬が開発され、アトピー性皮膚炎の治療に用いられるようになります。今でこそ標準治療の主たる治療薬ですが、1980年代後半からマスコミのバッシングが強くなり、ステロイド恐怖症の患者さんが増え、俗に「脱ステロイド」というステロイド外用薬を使わないで治療をしようとする人が増えました。そのため悪化して重症化した患者さんが緊急入院されるような事態が多く見受けられました。当時の脱ステロイドにより悪化した患者さんの報告をみると、感染症からDICという重篤な症状を起こした患者さんや、不幸にも亡くなってしまった患者さんの記録が残されています。不適切に治療していると頻度は少ないかもしれませんが、命の危険にさらされることがあるという教訓だと思います。

### ◆標準治療の確立

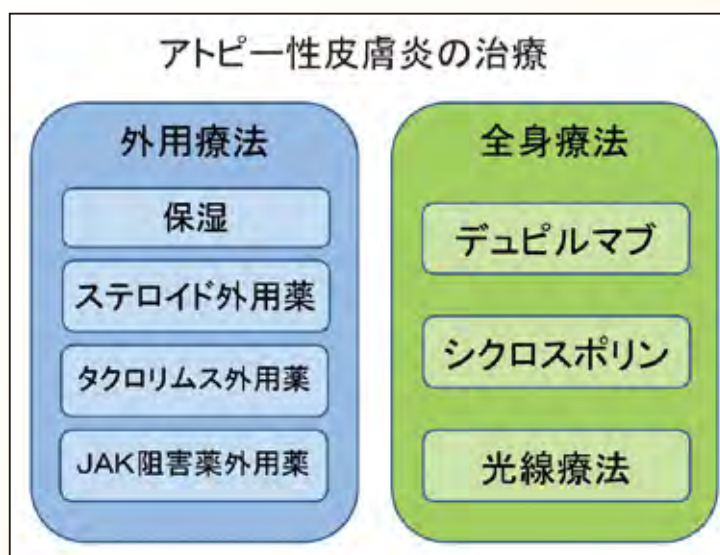
その後、1999年に免疫抑制剤のタクロリムス軟膏が発売されます。ステロイド以外の外用薬

として画期的でした。2000年には、日本皮膚科学会がアトピー性皮膚炎治療ガイドラインを発表し、徐々にステロイドバッシングの時代から脱してきます。さらに、2008年にはシクロスポリン内服が保険適応となり、重症患者さんの治療がしやすくなりました。

### ◆そして、次の治療の世代へ

2018年にデュピルマブという注射薬が保険適応になりました。デュピルマブは生物学的製剤と呼ばれる最先端のバイオテクノロジー技術によって生み出された医薬品です。関節リウマチなどで劇的に効果を上げている生物学的製剤が、ついにアトピー性皮膚炎でも使用できるようになりました！デュピルマブは、アトピー性皮膚炎の炎症のシグナルをダイレクトに抑制し、高い効果を上げています。そして、2020年5月頃には、今までと機序の違うJAK阻害薬の外用薬が発売される予定です。また、複数の候補薬の治験が進んでいます。

今、アトピー性皮膚炎の治療が劇的に変化しています。治療せず放置している患者さんが多くいると言われていいますので、ぜひとも皮膚科で適切な治療を受けていただきたいと思います。



# 地域医療を救え！～新型コロナウイルス感染症対策～

感染対策本部 診療情報管理士 金三津 美奈子

## ◆ AI検温モニター「MONITARO」設置

患者さんをはじめ、お付き添いの方なども含めたご来院の方の検温のため、正面玄関及び夜間入り口に非接触型検温モニタリングシステム「MONITARO」を設置しました。

モニターの前に立つだけで、体温測定が可能です。「正常な体温です」と音声でお知らせします。マスクを着用していない方は「マスクを着用してください」とお知らせしますので、お手持ちのマスクを着用または売店での購入をお願いしております。

発熱の症状がある場合には、あらかじめ職員にご相談いただくようお願いいたします。



「MONITARO」

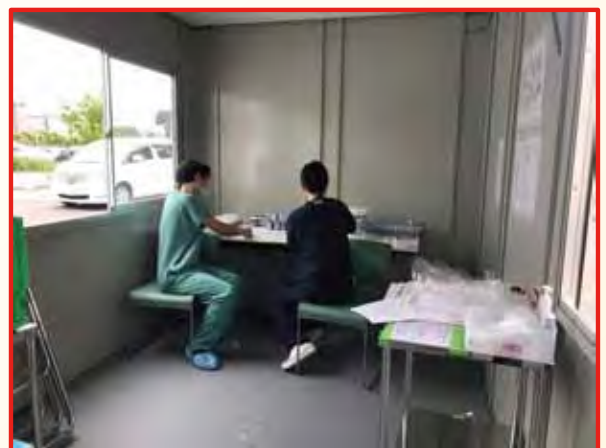


お試し中の鈴木院長

## ◆ 紹介患者さんへのPCR外来開設

戸塚区、泉区をはじめとする近隣医療機関からの紹介によるPCR検査を実施しています。敷地内に設置したプレハブで、車に乗ったまま検査が可能です。コロナ禍における地域医療支援病院の役割として、様々な取り組みを行っています。

※診療所等からの紹介がない方のPCR検査は実施しておりません。



PCR検査の準備

### ◆ あたたかい支援に感謝

新型コロナウイルス感染防止のための自粛期間中、当院の医療従事者へ様々なご支援をいただきました。

感染防止に欠かせない物品の不足、いつどこで感染するか分からない不安や、医療従事者への偏見など、これまでに経験したことのない状況でした。先が見えない状況の中でも、最前線で治療に当たる医師、看護師、医療スタッフの背中を押してくれたのは、皆さまからのあたたかい支援でした。企業さまからの支援や応援、個人的にご支援をくださった方々の当院を応援してくださる気持ちに改めて感謝申し上げます。



### ◆ フードトラック駆けつけ隊

株式会社MELLOW(メロウ)さまより、当院の医療従事者へフードトラックのご支援をいただきました。

6月から5週間に渡り、あたたかい食事を提供いただき職員の笑顔で溢れました。



## 第23回 診療情報管理士

診療情報管理士 金三津 美奈子

こんにちは。今回は私たち「診療情報管理士」の紹介です。

おそらく、ほとんどの方は「なんだそれは？」という第一印象じゃないでしょうか。

診療情報管理士とは、診療記録および診療情報を適切に管理し、そこに含まれる情報を活用することにより、医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門的な職業です。診療記録に含まれている情報は診療の継続、医療従事者の研究および教育・病院経営、公衆衛生上大変重要です。その価値を最大限発揮させることができるよう公的な記録として管理します。

私たちは、日々たくさんのデータと戦っています。電子カルテ、医事コンピュータ、院内がん登録、DPC（包括医療支払い）データを登録、分析して経営的側面での下支えをしながら、医療の質を保つために眉間にシワを寄せながら、コンピュータに向かっていきます。当院だけでなく、DPC参加病院のデータは、厚生労働省のホームページで公開されています。

よく、医療費を計算している「医事会計」と間違われることがありますが、私たちは毎日の保険請求の実務を行っているのではなく、データの精度管理や統計業務などを行うところです。質を追求するあまり、医師や看護師のみなさんと熱い討論をして、ぼろぼろになることもあります。それでも、時間をかけて分かっていたときは「やっていた良かった」と思える瞬間です。

病院にはいろいろな職種があり、たくさんの人が働いています。診療情報管理士はバラのような華やかさはありませんが、踏まれても道ばたでひっそりと咲く「たんぽぽ」のような存在だと思っています。ちなみに、たんぽぽの花言葉は「実直、誠実」なので、まさに私たちにぴったりです。また、デスクワークがほとんどなので、病院内で出会うことが稀です。レアキャラのようです。

時々、正面玄関で私たちもご挨拶をさせていただいています。もし、「診療情報管理士」を見かけたら、「かわら版見たよ！」とお声掛けいただけたら嬉しいです。



# 病診連携施設紹介

## 清水内科クリニック

診療内容：内科・循環器内科・呼吸器内科

院長 清水 学

清水内科クリニックは、2017年9月に開院した、立場駅前にある、循環器内科、呼吸器内科を中心とした内科のクリニックです。

患者さんの健康の窓口になることが私たちの役目です。優しく、親しみやすく、何でも相談しやすい雰囲気をスタッフとともに作り、日々診療しております。



清水院長

### 循環器診療

胸が痛い、動悸がする、息切れがするなど、少しでも心臓の病気にご不安がありましたらご相談ください。

心臓のカテーテル治療後や、心臓血管外科の術後の患者さんも多く通院されており、医療センターの先生方と連携を取りながらフォローアップさせて頂いております。

また、現在も他院にて非常勤医師として勤務しており、不整脈に対するアブレーション治療を行っております。

不整脈に対する、薬物治療、アブレーション治療の適応も含め、ご検討させて頂き、精密検査や入院治療が必要な際は、横浜医療センターを中心にご紹介させて頂いております。

### 呼吸器診療

感冒、気管支炎、肺炎などの感染症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患の診療を行っております。気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患などは、スタッフや近隣薬局とも協力し、治療の中心である吸入デバイスの使用法をわかりやすく説明しております。

また専門的な検査や処置が必要と判断した際には、横浜医療センターにご紹介させて頂いております。

その他、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病、睡眠時無呼吸症候群の診断及び治療、禁煙外来、バセドウ病や橋本病などの甲状腺疾患、花粉症などのアレルギー性疾患など幅広く対応しております。また専門のエコー技師による、各種エコー検査（心臓、腹部、頸動脈、甲状腺）も行っております。

横浜医療センターの先生方には、診療で困った際はいつもご相談させて頂き、また的確な診断、治療を行って頂き大変感謝しております。

今後も病診連携を通じて、地域の方々の健康を守っていきたく思いますので宜しくお願いいたします。



## 清水内科クリニック

〒245-0001 横浜市泉区和泉中央北2-1-6

ヒルズタテバ青木第3ビル 2F

TEL : 045-827-3337

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～18:00	◎	◎	—	◎	◎	—	—
9:00～12:00	—	—	◎	—	—	◎	—

※9:00～12:00 14:30～18:00 水・土曜AMのみ 臨時休診あり

【休診日】日曜日、祝日

令和2年7月1日～

診療科		月	火	水	木	金
外来受付 A	小児科	鏑木 陽一	福山 綾子	只木 弘美	鏑木 陽一	塩谷 裕美
		原 良紀	本井 宏尚	伊波 勇輝	矢内 貴憲	鈴木 裕二
		朱田 貴美		石丸 愛	高橋 英里佳	白井 綾乃
	心臓血管外科	村上 弘典	休診日(手術日)	益子原 幸宏	休診日(手術日)	久米 悠太
	形成外科	休診日	村下 一晃	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃
	整形外科	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	佐藤 雅経
小林 明裕		小澤 祐樹	小澤 祐樹	佐藤 雅経	小林 明裕	
堀 莉彩		日野 勝利	勝山 陽太	堀 莉彩	森田 彰	
勝山 陽太				森田 彰		
外来受付 B	総合内科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	糖尿病内分泌内科	田島 一樹	交代医師	田島 一樹	高橋 明裕	田島 一樹
		高橋 明裕		末園 太一	宇治原 誠	
	脳神経内科	小島 麻里	栗田 悠輔	高橋 竜哉	鈴木 聡	新井 拓真
	腎臓内科	松下 啓	毛利 史将	松下 啓	森田 隆太郎	休診日
	呼吸器内科	須藤 成人	休診日	椿原 基史	休診日	廣瀬 知文
	消化器内科	中島 聡美 (第1・3・5曜日)	川島 捺未 (第1・3・5曜日)	田邊 浩紹 (第1・3・5曜日)	細矢 さやか (第1・3・5曜日)	山田 英司 (第1・3・5曜日)
		野中 敬 (第2・4曜日)	松島 昭三 (第2・4曜日)	小松 達司 (第2・4曜日)	石井 研 (第2・4曜日)	葛生 健人 (第2・4曜日)
	循環器内科	小池 俊晴	森 文章	岩出 和徳	齋藤 貴士	森 文章
	膠原病・リウマチ内科	井畑 淳	関口 章子	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳
	外科・消化器外科	清水 哲也	関戸 仁	木村 準	関戸 仁	休診日 (手術日)
			太田 郁子 (乳腺外科)	交替医師		
呼吸器外科	休診日 (手術日)	増田 晴彦	休診日 (手術日)	渡部 克也	渡部 克也 (第1・3・5曜日) 増田 晴彦 (第2・4曜日)	
脳神経外科	休診日 (手術日)	岡田 富 (第1・3・5曜日)	瓜生 康浩 (第1・3・5曜日)	休診日 (手術日)	宮原 宏輔 (第1・3・5曜日)	
		宮原 宏輔 (第2・4曜日)	田中 悠介 (第2・4曜日)		谷野 慎 (第2・4曜日)	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	赤羽 邦彬	佐々木 祐幸	赤羽 邦彬	交代医師
	眼科	木村 正彦	永田 有司	岡部 智子	木村 正彦	田島 彬子
		藤田 智子	岡部 智子	田島 彬子	永田 有司	藤田 智子
	泌尿器科	今野 真思	平井 耕太郎	休診日 (手術日)	平井 耕太郎	今野 真思
		石川 達郎	中原 由季		藤岡 あずみ	石川 達郎
皮膚科	上田 喬士	上田 喬士	休診日 (手術日)	上田 喬士	上田 喬士	
	皆川 大輔	皆川 大輔		皆川 大輔	皆川 大輔	
外来受付 D	精神科	休診日	休診日	交代医師	休診日	交代医師
	産婦人科	向田 一憲	奥田 美加	内山 亜弥	乗杉 輝彦	楚南 侑子
		柳澤 芙弥	高山 智子	淵向 なつみ	交代医師	飯島 崇善
	産科	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)
	歯科口腔外科		根岸 明秀		根岸 明秀	
		渡辺 大智		渡辺 大智		
専門外来(予約制)	脳神経内科	物忘れ外来	頭痛外来 (第2・4曜日)			
	膠原病・リウマチ内科			関節超音波		
	呼吸器内科					アスベスト外来 (第1曜日)
	脳神経外科			脳神経血管内治療外来 (畑岡 峻介)		
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	幡多 政治	杉山 正人
	精神科	物忘れ外来				物忘れ外来

初診受付：(平日) 8:30～10:30  
 休診日：土曜日・日曜日・祝日、12月29日～1月3日  
 ※急患は随時受け付けております。来院前に病院にご連絡下さい。(代表)045-851-2621  
 ※ 青色の枠の担当医は、完全予約制となります。

◆編集後記◆

前号からの予告どおり表紙に「桜」をお届けします。季節はもう夏ですが、ある意味で春が来たのではと思っております。振り返りますとちょうど桜の咲いている頃は、新型コロナウイルスの影響でお花見に行けませんでした。全国的な緊急事態宣言も解除され普段の日常に戻りつつあります。まだまだ油断のならない状況は続きますので、3密を避けマスク着用や手指消毒を欠かさず行うことで感染予防になり、第2波への備えになると思います。次号では、新型コロナウイルスが終息!!とお伝えできるといいですね。